

# 福山市立大学 地域連携センター

年報



2025



## INDEX

●ごあいさつ	1
●地域連携センターの目的と概要	2
●地域連携活動	3
・事務局総務課連携担当	3
・都市経営学部 根本研究室	4
・都市経営学部 都市環境計画研究室(横山ゼミ)	5
・都市経営学部 大谷ゼミ	6
・都市経営学部 宮前ゼミ	7
・教育学部 野口啓示教授	8
・教育学部 瀧本哲弘講師	9
●公開講座	10
・第4回 学術の日	10
・ワークショップ	11
●公開講座一覧	12
・びんご多文化共生連続ワークショップ/地域連携セミナー	12
・その他の公開講座	13
●地域連携活動一覧	14
●高大連携活動一覧／包括連携協定／事業連携協定／ 教員による審議会等委員・講演会等講師の活動／ 受託研究・共同研究事業	19

# ごあいさつ

福山市立大学では、2011年4月の開学以来、前身となる教育研究交流センターを中心に地域に開かれた大学としての歩みを進めてきました。2024年10月1日、さらなる地域連携の推進を目的とし、福山市立大学 地域連携センターを開設しました。

本報告書は、福山市立大学における2024年10月から2026年3月末までの地域連携活動の実績をまとめた報告書です。この間にも、多くの学生や教職員によって、多様な地域連携活動が実施されてきました。「お手福」「押し天。」といった地元企業と学生との商品開発、福山市内および備後圏域の地域課題を踏まえたビジネスアイデアの提案、公開講座・ワークショップや各講義を通して展開する子ども達・地域とのつながり、福山市や地域団体と協働して取り組む地域活性化に関わる活動が挙げられます。

地域連携活動とは、教員がその研究・教育活動によって蓄積された専門知をもって、あるいは研究・教育組織において養成中である学生が知見やスキルをもって、地域社会の課題に向き合う活動です。この活動は、教職員や学生にとって専門知やスキルを地域社会の皆様と分かち合うと同時に、地域社会から現状や課題について学ぶ機会ともなっています。当センターは地域社会の皆様と大学をつなぐ架け橋として、機能を果たしていく所存です。本学と地域のさらなる連携へとつながるきっかけとして、本報告書を活用いただければ幸いです。

地域連携センター長  
清原 昭子

# 福山市立大学 地域連携センター

## 目的と概要

福山市立大学 地域連携センターは、地域に開かれた教育研究拠点として、地域の文化の向上に貢献するため、地域に触れ合い、地域課題の解決や地域活性化に向けた取組を推進します。公開講座などの学外向け事業の企画・立案を行うとともに、地域課題と研究内容を結び付ける窓口として、各種の相談業務を行います。

- 地域連携事業
- 産学官金連携事業
- 公開講座等の生涯学習事業 (2025年度より)
- 受託研究・共同研究事業
- 学生の地域活動に関する事項
- 地域連携の広報に関する事項
- その他必要な業務

## 地域連携をお考えの方へ

### 地域連携センターが協力できる活動

- 過大な利益追求を目的としないもの
- 政治、宗教的活動を目的としないもの
- 安全性が確保されていると判断されるもの
- 医療行為ほか、特定の資格を必要しないもの
- その他、地域連携センターが適切と判断するもの

教員や学生と  
地域連携の  
プロジェクトに  
取り組みたい方▶



上記ページをお読みいただき、地域連携  
申し込みフォームからご連絡ください。

## 地域連携拠点のご案内



学生や教職員が地域の方々と地域交流活動を行う拠点として、小松安弘記念館 教育研究棟1階に地域連携拠点を設置しています。OPEN DAYや対話イベント、打ち合わせなど、さまざまな用途で活用されています。



地域連携活動

## 広がる地域連携の輪

事務局総務課連携担当

### 産学連携商品「押し天。」完成

2025年10月、株式会社コパックス様×まるか食品株式会社様×福山市立大学の三者がタッグを組んで生まれたおつまみアソート「押し天。」をリリースしました。産学連携商品は、「お手福」[福香る ばらうどん]に続いて3品目となります。プロジェクトには都市経営学部の学生6名が参加し、「みんなの押し、つめこみました」というコンセプトから、味選び、商品名、パッケージデザインまでミーティングを重ね作り上げました。



### 「ふくいちマルシェ×LOCAL EDUCATION FES #02×福山市立大学」開催

2025年11月、小松安弘記念館全体を活かした地域連携イベントを共催し、延べ1,000名の地域の皆さまにお越しいただきました。地域連携が縁となったプチセミナーをはじめ、謎解きイベント、キッチンカー出店、マルシェ、ドローン体験、小中高生による探究プレゼンテーション、他大学のワークショップ、子育て応援ウィーク関連企画と、見どころが盛りだくさんの2日間となりました。



### 「本屋にお泊まり! 地元企業のシュラフで体験する『フェーズフリーな眠りの備え』開催

2026年2月、地元の布団メーカー・イシケン株式会社様、株式会社啓文社様、福山市立大学が連携し、本屋に宿泊する体験型防災イベントを開催しました。教育学部の平野晋吾准教授によるプチ睡眠講座、避難所食体験、段ボールを自由に使った自分なりの寝床作りを通して、非日常下でひと晩を過ごす不便さや、変化する睡眠の質、お湯の使えない環境を体験しました。





地域連携活動

## 福山駅前を防災の学びの場に 社会実験「OPEN STREET」への参加報告

都市経営学部  
根本研究室

### 公共空間の活用と「楽しみながら学ぶ」防災体験

2025年9月27日・28日の2日間、福山駅前で賑わい創出と回遊性向上を目的とした社会実験「OPEN STREET FUKUYAMA 2025 Vol.10」が実施されました。根本研究室は、昨年に続き運営補助と来場者アンケート調査を担当しました。学生たちは「新☆ぼうさいクエスト」の運営に携わり、駅前4拠点で防災クイズや液状化実験、非常食の試食などを提供しました。来場者の皆さんが楽しみながら防災を学べる場づくりをサポートし、日常における備えの大切さを伝える役割を担いました。



### 現場での対応とアンケート調査から得られた学び

学生たちは事前に運営研修を受け、当日は受付や解説を通して幅広い世代の参加者に 대응するなかで、予想外の反応や質問にも触れました。また後日のゼミではアンケートの結果を分析し、駅前空間の活用や防災の実態を把握しました。こうした「実践」と「分析」を組み合わせるプロセスは、大学での学びを定着させる貴重な機会になりました。



### 地域連携が生み出す教育効果

今回の活動から「楽しみながら学ぶ」ことが防災などの「意識」を高める原動力になることや、参加者の声を多角的に分析することが、駅前の賑わいや防災の在り方を客観的に考える契機になりました。この経験が、学生各自のこれからや研究活動、地域貢献につながることを期待しています。



地域連携活動

## 人口減少や気候変動に適応した“快適で魅力ある 都市環境創出”に向けた地域との取り組み

都市経営学部  
都市環境計画研究室  
(横山ゼミ)

### 公園の豊かな自然環境を活かす

春日池公園では令和5年度に「春日池公園パークライフビジョン」が作成され「みんなで育てる、元気の源。ネイチャーポジティブな水辺公園」をスローガンに、官民学連携で様々な取組が展開されています。本研究室では、令和6年度は「カヤック体験会」、令和7年度は「いきもの調査アプリ体験会」を実施し、春日池公園の魅力豊かな自然環境をより身近に感じてもらうための活動を行いました。



### 屋外空間を使いこなすために

本研究室ではレジャーシートや折りたたみイス等の休憩用アイテム、モルックやけん玉等の遊び用アイテムを入れたワゴンを学内外に設置し、キャンパスや公園等の屋外空間を使いこなすための活動を行っています。特に令和7年度は福山中央公園で開催された「ふくやま子どもフェスティバル」でワゴンを設置し、家族連れを中心に楽しんでもらいつつ、中央公園の魅力と快適性を高めることができました。



### ポケットパークを憩いの空間にアップデート

近年、人口減少を背景として「居心地がよく歩きたくなるまち」を目指す「ウォーカブルなまちづくり」が進められており、福山駅周辺でもウォーカブルエリアが設定されています。本研究室では「久松通り商店街」と連携し、エリア内の「ポケットパーク」に、人工芝、日よけ、クッション等を設置した“ゆっくりくつろげる空間”を実験的に創出し、多くの人々に利用してもらうことができました。





地域連携活動

尾道「迷宮堂」— 尾道の山手地区にある  
空き家を改装し、地域の居場所をつくる

都市経営学部  
大谷ゼミ

## 少子高齢化と空き家問題に悩む尾道山手地区

福山の隣町、尾道。山と海に挟まれ、平地が少ないこの都市では、明治期～昭和初期にかけて山手の住宅開発が行われました。大きな戦災や自然災害をまぬがれた山手地区。車の通らない狭い路地に、木造の古民家が並び立つ、100年前の建物と都市構造が、そのまま残っています。一方この地区は現在、深刻な少子高齢化と空き家問題を抱えています。



## 山手の記憶を受け継ぎ、新たな文化を創造する拠点：「迷宮堂」

築100年の古民家を改修した「迷宮堂」は、地域住民、旅人、海外からのゲスト、移住者、学生、アーティストなど、国籍も年齢も職業も様々な人々が集い、一緒にたべたり、はなしたり、つくったりする場所です。山手の記憶を受け継ぎ、新たな文化を創造することを目指しています。



## 生々しいまちづくりの現場に触れることで得られる学び

大谷ゼミの学生を中心とした福山市立大学の学生は、「迷宮堂」の改修作業やイベントの企画運営に定期的に携わっています。さまざまな人々とコミュニケーションしながら手足を動かし、生々しいまちづくりの現場に触れることで、大学の講義室とは違った、新たな学びの契機となっています。



地域連携活動

「お酒」を切り口にした  
域学連携プロジェクト

都市経営学部  
宮前ゼミ

## 日本酒を通じた地域理解と復興まちづくり

都市経営学部宮前ゼミでは、小島酒類販売株式会社と連携し、「日本酒」をテーマに学びの場を創出してきました。10月には広島国税局職員を招き、日本酒の基礎知識やアルコールとの適切な付き合い方を学ぶ勉強会を開催し、学内外から多数参加がありました。さらに12月には、西日本豪雨災害からの復興に取り組む愛媛県西予市野村町の事例をもとに、日本酒「緒方洪庵」が地域資源や関係人口を結び直す媒介となっていることを学びました。日本酒の試飲や具体的な地域活動の紹介を通して、学生にとって地域と関わる実感を伴う学びの機会となりました。



## 福山の夜の文化を記録する スナック・バープロジェクト

都市経営学部小島ゼミと合同で取り組む「福山スナック・バーマップづくり」では、学生が市内のスナックやバーを訪れ、店主へのインタビューを行っています。開業の経緯や地域の移り変わり、接客で大事にしていることなどを聞き取ることで、夜のまちに息づく文化や人のつながりを可視化する試みです。緊張していた学生も対話を重ねる中で表情が変わり、地域の担い手としてのマスターやママの姿に触れる貴重な経験となっています。成果はブックレットとして、お世話になったスナック・バー・酒屋さんにお渡しする予定です。





地域連携活動

## キャンパスで行う・考える子育て支援

教育学部  
野口啓示教授

### 子育て講座「子育て講座：“ダメ！”を減らして笑顔を増やす！福山で学ぶ子どもへの関わり方」

2025年5月28日、6月4日の2日間にわたり、小松安弘記念館にて、福山市ネウボラ推進課主催の子育て講座が開催されました。「子育て講座：“ダメ！”を減らして笑顔を増やす！福山で学ぶ子どもへの関わり方」と題する講座で、福山市で子育て中の母親9名そして父親1名の皆さまが参加しました。

当日は学生のボランティア団体である「てくてく」のメンバーが託児をにない、参加者は安心して受講することができました。講座は明るい雰囲気で行われ、参加者からは「子育てをがんばるのではなく、楽しめそう」との感想が寄せられました。



### 赤ちゃん先生クラス

2025年12月8日に小松安弘記念館にて赤ちゃん先生クラスを開催しました。これは広島県健康福祉局子供未来応援課が進めるもので、高校生や大学生を対象に、子育てに対してポジティブなイメージが持てるように、乳幼児とその親が学校へ講師として訪問し、学生と赤ちゃんが直接ふれあう体験会です。今回は、教育学部の「子ども家庭支援論」(担当：野口啓示教授)に、NPO法人ママの働き方応援隊の皆さま、乳幼児とその母親5組とインストラクター4名の方々が来てくださいました。学生が順番に赤ちゃんを抱っこしたり、遊んだりしながら、お母さんから妊娠出産・育休復帰・働き方や、パートナーの育休取得、子育てへの関わりについての話を伺いました。



地域連携活動

## 地元バスケットボールチームとの連携活動 ～地域の教育研究とスポーツ振興・人材育成のための産学連携～

教育学部  
瀧本哲弘講師

### 地元バスケットボールチームとの連携

本学は、Bリーグ入りを目指すバスケットボールチーム、びんご福山デンニクスを運営する株式会社福山デンニクス様と、地域の教育研究やスポーツの振興、人材育成などを目的として、包括連携協定を結んでいます。



### 本学学生と連携したスポーツ振興と人材育成の取り組み

本学では、学生がSNSの企画・立案・撮影・編集や、イベントブースでのチラシ配りや物販など、チームの広報活動をお手伝いさせていただいております。今年度は、教育学部の学生が、福まき(豆まきイベント)とふくやま城下冬まつりのお手伝いをさせていただきました。これらの取り組みが、地域のスポーツを盛り上げ、地域の方々との交流を深め、そして学生自身のキャリア形成にもつながっていただければと考えています。



### 本学教員と連携した教育研究振興と人材育成の取り組み

また本学では、教員が自らの知見を生かして選手と共同研究を行ったり、選手のトレーニングを指導したりしています。今年度は、教育学部教員が、外国籍プロ選手による英語と体育を融合した授業実践に関する共同研究や、選手に対してウエイトや体の使い方とコンタクトプレーに関するトレーニング指導を行いました。これらの取り組みが、地域の教育実践力やスポーツの競技力向上につながり、さらに地域人材の育成につながっていただければと考えています。





公開講座

## 第4回 学術の日

「子どもからはじまる保育・教育－教材・教具のひみつ－」

教育学部

日にち 2025年6月15日(日)

場所 小松安弘記念館 教育研究棟2階 ラーニングcommons

参加人数 87名

講師

池田 明子 (福山市立大学 教育学部 教授)

山中 真悟 (福山市立大学 教育学部 准教授)

貝野 真菜 (福山市立公立小学校教諭・  
福山特別支援教育研究会)

清水 希久恵 (福山市立公立小学校教諭・  
福山特別支援教育研究会)



内容

教育学部と地域連携センターによる公開講座「第4回 学術の日」を開催しました。保育所、認定こども園、幼稚園、小学校の先生方をはじめ、教育支援センターの関係者、本学の教職員、学生や卒業生など多くの方々にご参加いただき、にぎやかな交流の場となりました。

今回は「子どもからはじまる保育・教育」をテーマに、教材・教具に込められた工夫や学びについて、幅広い視点から考える時間となりました。研究交流会では、福山市特別支援教育研究会の貝野真菜先生と清水希久恵先生から、特別支援の現場での取り組みを紹介いただきました。さらに、本学からは池田明子教授(保育学)、山中真悟准教授(理科教育)が、それぞれの専門領域から話題を提供しました。

その後の交流の時間には、附属こども園で使われている教材、教員の研究成果、学生の卒業研究や授業から生まれた教材など、計13件の多彩な実践が紹介されました。参加者同士が教材を手に取りながら、「こういう使い方もあるのか」「子どもの反応はどうだったのか」など、保育・教育・特別支援などの立場を越えて自由に意見を交わす姿が見られました。

本講座は、研究と実践をつなぐ貴重な機会となり、地域と大学が一緒になって子どもの学びを支える関係づくりを深める場となりました。今後もこうした学びの共有の場を大切にしながら、保育・教育の発展に貢献していきます。



公開講座

## ワークショップ

教育学部・都市経営学部

親子で体験 SDGs 「遊びは学び」

- 日にち 2025年6月21日(土)、7月26日(土)、8月2日(土)
- 場所 港町キャンパス 書道教室、アリーナ
- 参加人数 117名(全3回の延べ数)
- 講師 大庭 三枝(福山市立大学 教育学部 教授)  
八幡 浩二(福山市立大学 都市経営学部 教授)  
山中 真悟(福山市立大学 教育学部 准教授)  
水主川 嘉範(かこ川商店)  
石元 仁規(福山市自然研修センター『ふくやま  
ふれ愛ランド』職員)  
占部 早百合(福山市自然研修センター『ふく  
やまふれ愛ランド』職員)



内容

6月21日(第1回)は「SDGs アート×サステナブルでオリジナルなオンリーワン」をテーマに、大庭三枝教授の講義のあと、かこ川商店様の協力で端材や廃材を活用した SDGs アート(パッチづくり)を行いました。

7月26日(第2回)は「先人の知恵―染織の文化史―」をテーマに、まずは八幡浩二教授の講義で自然染色の歴史を学びました。講義のあとは、実際の草木のこすり染めを体験しました。

8月2日(第3回)に開催した「ピタゴラドミノーカ(チカラ)って面白い!」では、山中真悟准教授の講義で力のしくみを学び、アリーナに移動。協力して巨大ドミノを制作しました。教育学部学生4人も参加しました。

アートとケアをつなぐ ～視点とその広がり～

- 日にち 2025年9月13日(土)、10月18日(土)、11月15日(土)
- 場所 小松安弘記念館 多目的研修室A、  
港町キャンパス 家庭科調理室
- 参加人数 64名(全9回の延べ数)
- 講師 渋谷 清(福山市立大学 教育学部 教授)  
古山 典子(福山市立大学 教育学部 教授)  
池田 明子(福山市立大学 教育学部 教授)  
正保 正恵(福山市立大学 名誉教授)  
古山 コスミ(写真家 アーティスト)  
リリー・モスパウアー(絵本作家 イラストレーター)  
松山 美晴(粘土遊び研究家)  
三好 光代(看護師・食養認定コーチ)

内容

9月13日(第1回)では、「この講座の意味を聞き流しながら、刺繍で気持ちを伝えよう」「写真を撮る視点を変えてみよう」「BGMをつくってみよう」の3講座が開催され、背刺繍や写真、BGM作りの創作体験を楽しみました。

10月18日(第2回)には「絵本の世界を楽しもう」「自分だけの小さい絵本をつくろう」「小麦粉粘土で遊んでみよう」の3講座が開催され、絵本や粘土にふれる体験を楽しみました。

11月15日(第3回)は「土鍋ご飯を味わおう」「みんなで造形遊びを楽しもう」「振り返って」の3講義が開催され、身体が喜ぶ料理を作って食べる体験や体を動かしながらひとつの作品を作る喜びを体験しました。



## 公開講座一覧

### びんご多文化共生連続ワークショップ

#### 多言語環境で育つ子ども言語の発達と習得 ～幼児期のこどもを中心に(第26回)

- 日 に ち 2025年9月27日(土)
- 場 所 小松安弘記念館 講義室A
- 参加人数 16名
- 講 師 牧田 幸文(福山市立大学 都市経営学部 教授)  
奥村 安寿子(広島大学 人間社会科学部 研究科  
日本語教育学プログラム 准教授)
- 内 容



都市経営学部の牧田幸文教授が英国の移民児への言語支援と日本の支援事例を報告し、奥村安寿子氏が多言語環境で育つ乳幼児の言語発達について講演しました。

#### 難民と生きる — 現場からの問いかけ(第27回)

- 日 に ち 2026年2月14日(土)
- 場 所 小松安弘記念館 講義室A
- 参加人数 18名
- 講 師 上別府 隆男(福山市立大学 都市経営学部 教授)  
宗田 勝也(一般社団法人難民ナウ 代表理事)
- 内 容



都市経営学部の上別府孝男教授より「タイにおけるミャンマー人移民・難民の教育機会」と題した講演がありました。続いて宗田勝也氏より難民支援の現状や具体的な実情をふまえた講演があり、グループワークが行われました。

### 地域連携セミナー

#### 京都における地域と学生をつなぐ活動

- 日 に ち 2025年5月9日(金)
- 場 所 小松安弘記念館 講義室A
- 参加人数 38名
- 講 師 タナカユウヤ(株式会社ツナグム取締役)
- 内 容

講師のタナカユウヤ氏より、これまでの地域連携の取り組みや京都産業大学での実践事例が紹介され、クローズング後の交流会でも闊達なコミュニケーションが交わされました。



### その他の公開講座

#### 絵本が教えてくれる大切なこと—子どもにも大人にも—

- 日 に ち 2025年5月31日(土)
- 場 所 小松安弘記念館 多目的研修室A
- 参加人数 29名
- 講 師 大庭 三枝(福山市立大学 教育学部 教授)  
小村 優衣(出版社「黄色い蝶々」代表)
- 内 容



教育学部の大庭三枝教授と卒業生の小村優衣氏が「いのち」をテーマに絵本を紹介・朗読し、参加者が絵本の世界を楽しみながら命について考える時間となりました。

#### 地域スポーツマネジメントの可能性—経営・社会学と実践が語る『びんご福山デニックス』の挑戦—

- 日 に ち 2025年8月9日(土)
- 場 所 港町キャンパス 中講義室A
- 参加人数 17名
- 講 師 辻 紳一(福山市立大学 都市経営学部 准教授)  
前山 総一郎(福山市立大学 名誉教授)  
高村 亨(びんご福山デニックス 代表)
- 内 容



都市経営学部の辻紳一准教授、前山総一郎名誉教授、講師の高村亨氏がリレー講義とセッションを行い、びんご福山デニックスの挑戦を軸にスポーツと地域振興の可能性を多角的に議論しました。

#### 数理の世界 —生物とのかかわりを中心に—

- 日 に ち 2025年9月6日(土)
- 場 所 小松安弘記念館 講義室A
- 参加人数 34名
- 講 師 太田 直樹(福山市立大学 教育学部 准教授)  
辻川 亨(宮崎大学 名誉教授)
- 内 容



教育学部の太田直樹准教授が日常で役立つ数学を、講師の辻川亨氏が数理生物学や自然現象の数理モデルを紹介し、数学が身近な現象理解に応用されることを学びました。

#### From Hiroshima to Hawaii : The Journey and Legacy of Immigrants 広島県からハワイ州へ：移民の旅と遺産

- 日 に ち 2025年10月25日(土)
- 場 所 小松安弘記念館 講義室A
- 参加人数 29名
- 講 師 牧田 幸文(福山市立大学 都市経営学部 教授)  
Lance Shigeto Sato(福山市立大学 英語特任教員)  
Jeffrey Daien Soga(ワイパフ本願寺住職)
- 内 容



都市経営学部の牧田幸文教授、Lance Shigeto Sato特任教員、Jeffrey Daien Soga氏が広島からの移民の歴史、ハワイでの暮らし、日系人のビジネス展開を紹介し、移民の歩みと遺産への理解を深めました。

○地域連携活動一覧

日時	タイトル	教職員等	概要
<b>2024年度</b>			
2024年10月～2025年3月	教育学部地域連携事業 FCU EDU+	教育学部	実績は14件(「各種研修会講師の依頼」1件、「授業研究・保育研究への協力依頼」1件、「授業づくり・保育活動に関する相談」5件、「学習教材・保育教材の提供の依頼」6件、「研究授業への指導・助言」2件、「その他」1件<延べ数>)であった。
10月10日～11日	「しまなみPACK2024」に初出展し、学生たちが「お手福」をPR	学生	福山ビッグ・ローズで開催された総合包装展「しまなみPACK2024」に大学として初出展し、バラの香りがする紙おしぼり「お手福」(株式会社コパックス様との産学連携商品)を学生たちがPR。
10月14日	「第3回ふくやま未来の運動会」に教育学部1～2年生10名が運営委員として活躍	学生	エフピコアリーナで開催された「第3回ふくやま未来の運動会」に教育学部1～2年生10名が運営委員として参加。
10月16日	「都市社会実践演習」の一環で株式会社かこ川商店様を訪問	宮前良平	「都市社会実践演習」(担当:宮前良平准教授)の受講生5名が、株式会社かこ川商店の水主川嘉範代表取締役社長にヒアリングを行う。
10月27日	「FUKUYAMA ParkLife LAB」の実証実験として春日池公園でワークショップを実施	根本修平	「FUKUYAMA ParkLife LAB」内の実証実験の一環で、春日池公園にて都市経営学部の本研究室が市民参加型ワークショップを実施。
10月27日	都市経営学部横山研究室が春日池公園でカヤック体験会を実施	横山真	「FUKUYAMA ParkLife LAB」内の実証実験の一環で、都市経営学部横山研究室が「カヤック体験会」を実施。地域の事業者と連携して、参加者に春日池の魅力やカヤックの楽しさを伝える。
10月30日	「都市社会実践演習」の一環で「学生×ビジネスリーダー・びんご福山Denix 社会解決フォーラム」を開催	その他	「都市社会実践演習」(担当:前山総一郎名誉教授)の一環で、びんご福山デニックス様より課題解決に向けた戦略等について指導いただく。
11月8日	近隣4学区自治会連合会長と意見交換	その他	近隣4学区(旭、川口東、手城、南)の自治会連合会長を学内の部局長会議にお招きし、佐藤利行学長ら役員、部局長と意見交換を行う。
11月16日～17日	パラスポーツイベントの運営に学生が協力	学生	エフピコアリーナふくやまで「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2024」が開催され、本学の学生4名がボランティアとして運営に協力。
11月17日	「幼児期のことばの発達について」講演会&意見交流会を開催	伊澤幸洋	2024年度地域連携センター長の伊澤幸洋教授(教育学部)が地域連携センター事業として「幼児期のことばの発達について」講演会と意見交流会を開催。
11月17日	「みんなのつれのうて文化祭」で学生が成果報告	宮前良平	iti SETOUCHIで開催された「みんなのつれのうて文化祭」にて、参加者や市民団体等に向けて、学生が「都市社会実践演習」(担当:宮前良平准教授)の成果報告を行った。
11月19日	国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所の皆さまと学生との座談会を開催	渡邊一成	国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所の皆さまと、都市経営学部の渡邊一成ゼミによる「私の好きな街の風景～魅力的な公共空間づくり～」をテーマとした座談会を開催。
12月5日	広島県立福山特別支援学校の皆さまと教育学部の学生が交流	学生	福山特別支援学校中学部2学年の皆さまが、校外学習「施設見学」で本学を訪問し、教育学部の学生ボランティア4年生5名がナビゲート役を務める。
12月7日	県立広島大学主催「第3回広島県学生地域連携活動発表会」に参加	学生	県立広島大学主催「第3回広島県学生地域連携活動発表会」に初参加。学生が「伝統産業を伝えるBar」と題した発表を行う。
12月7日～8日	バレーボール大会に本学女子バレーボール部員が実行委員として活躍	学生	エフピコアリーナふくやまで行われたSVリーグ男子の試合に、本学女子バレーボール部員が実行委員として運営に参加。
12月11日	教育学部教育コースの学生が福山特別支援学校を訪問	学生	教育学部教育コース4年生1名と2年生5名が福山特別支援学校を訪問し、高等部の生徒さんとポッチャ、絵本の読み聞かせ、音楽交流を行う。
12月12日	学生サークル「SDGsクラブ」が「食べるボランティア」を開催	学生	学生サークル「SDGsクラブ」が食堂で「食べるボランティア」を開催し、フードロス削減に貢献。国際ソロプチミストローズ福山様より食料を提供いただく。
12月18日	福山市役所職員を対象とするSDGs研修会において、上別府隆男教授が講師を担当	上別府隆男	福山市役所職員を対象とするSDGs研修会が本学で開催され、都市経営学部の上別府隆男教授が講師を担当した。
1月7日	公益財団法人福山通運小丸環境財団様ご寄贈のばら苗木の植樹式	学生	公益財団法人福山通運小丸環境財団様から寄贈いただいたばら苗木の植樹式を開催し、学生ボランティアも参加。
1月9日	「就活応援ラジオ『輝く!地元企業で働こう!』」のキックオフミーティングに、学生3名が参加	学生	エフエムふくやま「就活応援ラジオ」のキックオフミーティングに学生3名が参加。番組冒頭のタイトルコールの収録と撮影を行う。
1月13日	「探究的な学び」研究会を開催	林原慎	本学大学院修士と教育学部の林原慎教授が連携した「探究的な学び」研究会が小松安弘記念館で開催され、福山市小学校教員8名が参加。
1月15日	学生が石丸製麺株式会社様のうどん工場(香川県)を見学	学生	産学連携の一環で、都市経営学部3年生7名が香川県にある石丸製麺株式会社様を訪問し、うどん工場を見学した。
1月下旬～2月上旬	都市経営学部横山研究室が福山市立鞆の浦学園と連携し、百葉箱や案内看板等を製作	横山真	都市経営学部の横山研究室が福山市立鞆の浦学園と連携し、「しあわせの丘」の整備プロジェクトを実施。小学生と協力しながら、学園内で老朽化した百葉箱の再生やバラ会議に向けた案内看板の製作に取り組んだ。
2月1日	小学校教師対象「第4回 音楽を聴く力を育む音楽経験プログラム」を開催	古山典子	教育学部の古山典子教授が地域連携事業として、国立音楽大学教員と共同で「第4回 音楽を聴く力を育む音楽経験プログラム」を開催。

日時	タイトル	教職員等	概要
2月3日～28日	「就活応援ラジオ」放送開始	学生	学生が出演する「就活応援ラジオ『輝く!地元企業で働こう!』」がエフエムふくやまで放送。
2月7日～	佐藤利行学長が出演するラジオ番組「大窪シゲキの熱血ラジオ大学」(広島FM)がスタート	事務局	広島FMの新番組「大窪シゲキの熱血ラジオ大学」(毎週金曜日19:30～20:00)が放送開始。佐藤利行学長が特別顧問としてレギュラー出演中。
2月7日～8日	本屋での宿泊イベントでミニ講座を担当	宮前良平	「みんな防災をしよう～地元の企業のシュラフを使って本屋に泊まって防災意識を高めよう～」にて、都市経営学部の宮前良平准教授がミニ講義「もし福山で災害が起きたら」の講師を担当。
2月7日～8日	「みんな防災をしよう～地元の企業のシュラフを使って本屋に泊まって防災意識を高めよう～」を開催	事務局	イシケン株式会社様、株式会社啓文社様、都市経営学部の宮前良平准教授、大学事務局が連携し、地元企業のシュラフを使って本屋に宿泊するイベントを開催。学生10名が参加。
2月14日	都市経営学部牧田幸文教授と学生サークルが内海町のレモン農園を見学し交流	牧田幸文 学生	都市経営学部の牧田幸文教授と学生サークル「GooHats(グーハッツ)」が内海町の田島を訪問し、交流。
2月20日～	「つれのうてNIGHT IN 福山市立大学」がスタート	事務局	福山市まちづくりサポートセンター様のサポートにより、福山市内各所で開催されている「つれのうてNIGHT」の福山市立大学版がスタート。月1で開催中。
2月25日	学生有志が株式会社エフピコ様の福山リサイクル工場を見学	学生	学生サークル「FOLKLORE(フォークロア)」を中心とした学生有志が、株式会社エフピコ様の福山リサイクル工場(福山市箕沖町)を見学。
3月6日	学生サークルがエフピコ商事株式会社の小松毅至代表取締役会長と座談会	学生	学生サークル「FOLKLORE」の学生が、エフピコ商事株式会社の小松毅至代表取締役会長との座談会を実施。翌月4月に設置されるリサイクルボックスの背景について学ぶ。
3月28日	産学連携商品「福香る ばらうどん」リリース	学生	株式会社コパックス様、石丸製麺株式会社様との産学連携で生まれた新商品「福香る ばらうどん」の記者発表会を本学で開催。プロジェクトに関わった学生3名が参加。
<b>2025年度</b>			
2025年4月～2026年3月	教育学部地域連携事業 FCU EDU+	教育学部	実績は24件(「各種研修会講師の依頼」10件、「授業研究・保育研究への協力依頼」7件、「授業づくり・保育活動に関する相談」4件、「学習教材・保育教材の提供の依頼」9件、「講演依頼」4件、「教育・保育に関する共同研究の依頼」1件、「その他」2件<延べ数>)であった。
4月1日	リサイクルボックスの利用促進を目的とした「FOLKLORE増刊号」を発行	学生	学生サークル「FOLKLORE」が、本学に設置されたリサイクルボックスの利用活用を目的として、サークル初の臨時増刊号を発刊。
4月4日～11日	大学食堂で「福香る ばらうどん」を提供	その他	大学食堂にて、産学連携商品「福香る ばらうどん」を期間限定で提供。
4月5日	教育学部瀧本哲弘講師が女子ハンドボールトップリーグチームに「お手福」を差し入れ	瀧本哲弘	教育学部の瀧本哲弘講師が広島市で開催された女子ハンドボールの試合にて、産学連携商品「お手福」をPR。
4月9日～	「OPEN DAY」がスタート	事務局	小松安弘記念館の一部を地域に開放する「OPEN DAY」がスタート。
4月27日	都市経営学部本研究室が「UTSUMI FISHERMANS Fest」に参加	根本修平	内海町のクレスセントビーチで「UTSUMI FISHERMANS Fest」が開催され、都市経営学部の本研究室が企画運営に参加。
4～5月 10～11月	都市経営学部横山研究室が「FCU PUBLIC WAGON」を実施	横山真	都市経営学部の横山研究室が「FCU PUBLIC WAGON」を実施。学生が過ごす新たな場所の提案や食堂の混雑緩和を目的とし、休憩用アイテムを入れたワゴンをキャンパスと福山みなと公園の境界部分に設置。
5月上旬	教育学部瀧本哲弘講師がRCC「イマナマ」出演者様、スタッフ様に「お手福」を差し入れ	瀧本哲弘	教育学部の瀧本哲弘講師が、自身が所属する社会人アメフトチームの選手とともにRCC「イマナマ」のロケに参加。田村友里アナウンサーに産学連携商品「お手福」を差し入れ。
5月17日	教育学部生が福山ばら祭2025緑町公園ステージで発表	大庭三枝	「保育内容(表現A)」(担当:大庭三枝教授)を履修する学生が、福山ばら祭2025の大ステージにて、福山市立女子短大時代から継承する楽しい表現教材3種をダイナミックに披露。多くの家族連れに参加いただく。
5月18日	世界パラ会議歓迎レセプションにて「二上りおどり」を披露	大庭三枝	世界パラ会議福山大会歓迎レセプションにて、古典芸能保存会様と連携して「二上りおどり」を披露。本学開講科目「二上りおどり」を履修者や教育学部の大庭ゼミ4年生らが衣装提供や踊りの指導を行い、参加者と交流。
5月28日 6月4日	教育学部の野口啓示教授が「子育て講座」で講師を務める	野口啓示	福山市ニューボラ推進課主催の「子育て講座」が本学で開催され、教育学部の野口啓示教授が「子育て講座:「ダメ!」を減らして笑顔を増やす!福山で学ぶこどもへの関わり方」の講師を務める。
6月～7月	都市経営学部本研究室が「出張UTSUMI FISHERMANS Fest」に参加	根本修平	JR福山駅前にあるアイネスフクヤマで「出張UTSUMI FISHERMANS Fest」が開催され、都市経営学部の本研究室が運営として参加。
6月2日	学生がまるか食品株式会社様を訪問し、工場を見学	学生	株式会社コパックス様との産学連携の一環で、都市経営学部3年生と2年生の6名が、尾道市にあるまるか食品株式会社様を訪問。工場を見学し、ミーティングを行う。
6月7日	ホロコースト記念館行事「第16回アンネと出会おう」に参加	大庭三枝	教育学部の大庭ゼミ3年生と手話サークル有志が、ホロコースト記念館行事「第16回アンネと出会おう」に参加。平和の手遊びや手話ダンス「世界中の子どもたちが」を披露し、幅広い年齢の参加者と交流。
6月20日	部局長会議に学生が参加	事務局	学生サークル「GooHats」、「Liaison(リエゾン)」の学生が部局長会議に招かれ、地域連携×国際貢献活動「とうもろこし奨学金プロジェクト」について発表を行う。

日時	タイトル	教職員等	概要
6月25日	ココヨマーケティング株式会社様よりMAXHUBの使い方をレクチャーいただく	事務局	小松安弘記念館の一部を開放する「OPEN DAY」にて、ココヨマーケティング株式会社様が学生や教職員に向けてMAXHUBの使い方をレクチャー。
6月末 ～7月初旬	学生サークルが地元農家と連携し「とうもろこし奨学金プロジェクト」に取り組む	学生	学生サークル「GooHats」、[Liaison]の学生が、福山市の多国籍農家・若井農園様の「とうもろこし奨学金プロジェクト」に協力。
7月	世界パラ会議福山大会における貢献が認められ特別感謝状を授与される	大庭三枝	世界パラ会議福山大会歓迎レセプションにおける貢献が高く評価され、市長より特別感謝状を授与される。参加学生には記念品(福山のバラゼリー)が贈られる。
7月	都市経営学部小島ゼミ・宮前ゼミの活動の一環で、スナック・バーにインタビュー	小島見和 宮前良平	都市経営学部の小島ゼミ(都市史)・宮前ゼミ(社会心理学)が取り組む共同プロジェクトの一環で、近隣にあるスナック・バーの経営者にインタビューを実施。
7月3日	本学が「日本遺産サポーター大学」に登録	事務局	文化庁「高等教育機関における日本遺産サポーター登録制度」日本遺産サポーター大学に登録。全国で11機関目、広島県内大学では初。
7月10日	学生サークルが食料配布イベントを開催	学生	学生サークル「Liaison」が、食堂にて食料配布イベントを開催し、フードロス削減に貢献。
7月23日 ～27日	市内ギャラリーと連携した授業作品展「創作絵本と木工オブジェ」開催	渋谷清	「絵画造形表現特論」(担当:渋谷清教授)を受講した教育学部生による授業作品展が、福山市内の「sankakuギャラリー」で開催される。
7月25日	[第1回内海まちづくりミーティング]へ参加	澤田結基	都市経営学部の澤田結基教授が福山市南部地域振興課主催の「第1回内海まちづくりミーティング」に参画し、グループワークへの導入として「地形と地質から読み取る内海町の人の営み」と題する講演を行った。
7月29日	都市経営学部宮前ゼミと学生有志で「まちづくりお茶会」に参加	宮前良平	地域と学生をつなぐイベント「まちづくりお茶会」が福山市中部地域振興課主催で開催され、都市経営学部の宮前ゼミ3年生と学生有志が参加。近隣地域(手塚学区、霞学区、西学区)の方々と交流を行った。
8月6日	教育学部の教員が地域連携を考える会を開催	教育学部	教育学部の教員有志が集まり、地域連携を考える会を開催。闊達な意見交換が行われた。
8月8日	教育学部大庭ゼミ4年生が「2025市民平和のつどい」に参加し、平和紙芝居等を披露	大庭三枝	教育学部の大庭ゼミ4年生が「母と子の八月八日」(福山空襲を題材とした紙芝居)を披露。続くワークショップでは子どもたちと大きささまざまな折鶴を制作し、夕方の慰霊式で献納。
8月21日	福山シティFCとの連携企画「環境測定体験授業」を開催	横山真	福山シティFCのアカデミー生・スクール生が対象の「環境測定体験授業」が市内コートで開催され、都市経営学部の横山真准教授と横山研究室の学生が講師を担当。放射カメラを用いた高温箇所の調査と気象観測装置を解説。
9月13日	都市経営学部根本研究室がウッドデッキ塗装ワークショップを開催	根本修平	都市経営学部の根本研究室が福山駅前の交流スペース「machoru(まちよーる)」のウッドデッキを塗り替える市民参加型ワークショップを開催。
9月18日	教育学部瀧本哲弘講師が地元外国人バスケットボール選手にウエイトトレーニングのセッションを実施	瀧本哲弘	教育学部の瀧本哲弘講師が、地元福山の施設バスケットボールチーム・びんご福山デニックス様の外国人選手向けにウエイトトレーニングのセッションを実施し、地域の英語教育における連携の可能性について協議。
9月27日 ～28日	都市経営学部根本研究室が「OPEN STREET FUKUYAMA 2025 Vol.10」に参加	根本修平	JR福山駅前を中心とした公共歩道空間を活用した社会実験「OPEN STREET FUKUYAMA 2025 Vol.10」が開催され、防災体験イベントの運営補助を根本研究室が担当。
10月1日	学生サークルが、地元フリーペーパー編集部による編集セミナーに参加	学生	「Meetsかなべ Vol.5」の運営に関わる皆さまが、小松安弘記念館で、本学学生向けにフリーペーパー編集セミナーを開催。学生サークル「FOLKLORE」のメンバーが参加。
10月4日 ～13日	都市経営学部横山研究室が「久松通商店街振興組合」と連携して、ポケットパークの活用実験を実施	横山真	都市経営学部の横山研究室が「久松通商店街振興組合」と連携し、久松通り南北のポケットパークに、ゆっくりくつろげる空間を実験的に創出。人工芝や休憩用アイテムなどを設置し、利用のされ方や印象などを調査した。
10月14日 ～31日	都市経営学部大谷ゼミが港町キャンパスの中庭で「中庭活性化プロジェクト」の実証実験を実施	大谷悠	都市経営学部の大谷ゼミの学生が、本学港町キャンパスの中庭にて「中庭活性化プロジェクト」の実証実験を実施。中庭空間の滞在性の向上、学生の居場所作り、コミュニティ形成の促進を目指す。
10月17日	学生が自治体広報担当者向けのフォーラムに登壇	学生	中国地方の自治体の広報・HP運用担当向けのイベント「自治体フォーラム～広報力を高める情報発信力の強化～」が小松安弘記念館で開催され、「大学生が考える 若者に刺さる広報戦略」のパートで学生が登壇。
10月17日	産学連携商品「推し天。」の新商品発表会を開催、商品リリース	学生	株式会社コパックス様、まるか食品株式会社様との産学連携で生まれた新商品「推し天。」の記者発表会を本学で開催。プロジェクトに参加した学生3名も参加。
10月23日 11月27日	福山市立長浜小学校5年生が、本学の授業「運動・身体表現活動Ⅱ」に参加	大庭三枝	「市民平和のつどい」紙芝居の意図や表現方法を学習するため、福山市立長浜小学校5年生が保育コース1年科目「運動・身体表現活動Ⅱ」(担当:大庭三枝教授)に参加。教育学部生が手遊び教材の表現方法などを指導。

日時	タイトル	教職員等	概要
10月25日	都市経営学部根本研究室が「春日池公園 Park Life Fest」でベンチ改修のワークショップを開催	根本修平	都市経営学部の根本研究室が「春日池公園 Park Life Fest」に参加し、公共空間における2脚のベンチを改修するワークショップを開催。
10月25日	都市経営学部横山研究室が「春日池公園 Park Life Fest」で「いき物調査アプリ体験会」を実施	横山真	都市経営学部の横山研究室が「春日池公園 Park Life Fest」に参加し、「いき物調査アプリ体験会」と水生生物の展示を実施。参加した子ども達がアプリを利用して、公園内で捕まえたいきものを記録した。
10月27日	福山都市圏交通円滑化総合計画事務局の皆さまが専門教育科目「都市交通政策」の講義を担当	渡邊一成	学部の専門教育科目/展開科目「都市交通政策」(担当:渡邊一成教授)に福山都市圏交通円滑化総合計画 事務局をお招きし、福山都市圏における交通需要管理の取り組みをご紹介いただいた。
10月29日	2025年度酒類勉強会「知っておきたいお酒の話」を開催	宮前良平	都市経営学部の宮前ゼミが、2025年度酒類勉強会「知っておきたいお酒の話」(協力:小島酒類販売株式会社様)を開催。広島国税局から酒類業調整官ならびに人事専門官の皆さまが来学され、酒類勉強会を実施。
11月3日	学生がふくやま子どもフェスティバルの平和の広場にて工作テントを運営	大庭三枝	教育学部保育コース1年生が、ふくやま子どもフェスティバルの平和の広場にて、ペットボトルを再利用したESD楽器の工作テントを運営。平和紙芝居、歌、平和の手遊びの実演を行った。
11月3日	都市経営学部横山研究室が「ふくやま子どもフェスティバル2025」で「FCU PUBLIC WAGON」を実施	横山真	都市経営学部の横山研究室が福山中央公園で行われた「ふくやま子どもフェスティバル」に参加し、休憩用アイテム、モルックやけん玉等の遊び用アイテムを入れたワゴンを設置。中央公園の魅力と快適性を高めた。
11月4日～	産学連携商品「推し天。」が大学生協で販売開始	事務局	株式会社コパックス様、まるか食品株式会社様との産学連携商品「推し天。」が大学生協で販売開始。
11月12日	「都市経営ゼミ」の一環でタカオ株式会社を訪問	高野健人	「都市経営ゼミ」受講生14名が福山市の遊具メーカーであるタカオ株式会社様を訪問し、都市公園等に設置される遊具の設計や製作に関する説明を受け、工場見学を実施。
11月12日	学生が福山市(仮称)まちづくり支援拠点施設の活用アイデアをプレゼンテーション	宮前良平	学部開講科目「都市社会実践演習」(担当:宮前良平准教授)の成果報告会にて、現在建設中の福山市(仮称)まちづくり支援拠点施設の活用アイデアを学生ならではの視点から発表。
11月15日 ～16日	「ふくいちマルシェ×LOCAL EDUCATION FES #02×福山市立大学」を開催	事務局	市内の外部団体と連携し、小松安弘記念館で「ふくいちマルシェ×LOCAL EDUCATION FES #02×福山市立大学」を初開催。
11月22日 ～23日	「しまなみPACK2025」に出展し、学生たちが「推し天。」をPR	学生	福山ビッグ・ローズで開催された総合包装展「しまなみPACK2025」に大学がブースを出展。おつまみアソート「推し天。」(株式会社コパックス様、まるか食品株式会社様との産学連携商品)を学生たちがPR。
11月24日	内海町を歩くフィールド講座「ブラうつみ」を実施	澤田結基	福山市南部地域振興課主催のフィールド講座「ブラうつみ」の案内役として、都市経営学部の澤田結基教授が参加。座学後、田島・横島の地形や寺社などを歩き、地域の歴史・自然に関する説明を行った。
11月25日	国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所の皆さまと学生との座談会を開催	渡邊一成	都市経営学部の渡邊ゼミの活動の一環として、国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所の皆さまと、「暮らし・産業・安心安全を支える広域ネットワーク」をテーマとした座談会を開催。
11月29日	学生が、第66回中・四国保育学生研究大会にて研究発表	大庭三枝	「保育内容(表現A)」授業の集大成として、保育コース2年全員で取り組んだ協同的な教材研究の成果を発表。表現教材の動画を含んだ研究発表「地域の歴史・文化から学び構成する表現学習」は高い評価を得る。
11月29日	「みゆきよりみちかふえ」(平大認知症カフェwith ふ〜じゅ)に講師として参加	牧田幸文	都市経営学部の牧田幸文教授が、御幸町と福山平成大学、外国人支援団体のふ〜じゅが主催する認知症高齢者支援カフェで「外国にルーツのある高齢者と認知症」について講師を務める。
11月29日	県立広島大学主催「第4回広島県学生地域連携活動発表会」に参加	学生	県立広島大学主催「第4回広島県学生地域連携活動発表会」に参加。都市経営学部と教育学部の学生2名が「農がつくる偶発的なつながり」と題した発表を行う。
12月8日	「子ども家庭支援論」にて乳幼児や保護者とのふれあい体験を実施	野口啓示	「子ども家庭支援論」(担当:野口啓示教授)にて、乳幼児とそのお母さんが「先生」を務め交流するふれあい体験(主催:広島県子供未来応援課)を実施。
12月8日	2025年度酒類勉強会第2弾「日本酒緒方洪庵と地域活性化・復興まちづくりの話」を開催	宮前良平	都市経営学部の宮前ゼミが、2025年度酒類勉強会第2弾「日本酒緒方洪庵と地域活性化・復興まちづくりの話」(協力:小島酒類販売株式会社様)を開催。
12月10日	都市経営学部大谷ゼミが尾道山手地区の空き家再生プロジェクト「迷宮堂」の改修工事に参加	大谷悠	都市経営学部の大谷ゼミ3年生が、尾道山手地区の空き家再生プロジェクト「迷宮堂」の改修工事に参加し、三和土(たたき)作りを体験。
12月15日	学生が中庭のばらを剪定	学生	学生有志団体「学生ばらのまち推進委員会」が、福山市職員の方々に教えていただきながら、本学中庭のばら花壇に咲くばらの剪定を体験。
12月17日	福山市役所職員を対象とするSDGs研修会「SDGsと地方創生:自治体のSDGs導入決定プロセスの類型化」が本学で開催され、都市経営学部の上別府隆男教授が講師を担当	上別府隆男	福山市役所職員を対象とするSDGs研修会「SDGsと地方創生:自治体のSDGs導入決定プロセスの類型化」が本学で開催され、都市経営学部の上別府隆男教授が講師を務める。

○高大連携活動一覧

日 時	タイトル	教職員等	概 要
<b>2024年度</b>			
10月17日	福山明王台高校「社会人講話」に本学学生が講師として登壇	学生	都市経営学部4年の学生が、広島県立福山明王台高等学校「社会人講話」に講師として登壇し、1～2年生約500名を前に講演。
<b>2025年度</b>			
6月～11月	神辺旭高校「旭タイム」に協力	事務局	広島県立神辺旭高等学校の探究授業「旭タイム」にて、小松安弘記念館をテーマとした組織課題で活動協力。
6月～2月	神辺高校「みらい探究事業」に協力	事務局	広島県立神辺高等学校の探究授業「みらい探究事業」にて、小松安弘記念館をテーマとした組織課題で活動協力。
6月14日	岡山芳泉高校にて「身近な災害リスクとその対策」をテーマに講義	渡邊一成	岡山県立岡山芳泉高等学校の土曜オープン講座にて都市経営学部長の渡邊一成教授が「身近な災害リスクとその対策(防災)」を考える～都市経営的なアプローチ～をテーマとした講義を行う。
7月10日	大門高校が開催した「D! フェス ～デジタルで探究しよう～」に講師として参加	渡辺健次 向井厚志 林聡太郎	広島県立大門高等学校が開催した「令和7年度 D! フェス ～デジタルで探究しよう～」に、渡辺健次副学長・教授、向井厚志副学長・教授、林聡太郎准教授が参加。
12月3日	福山市立福山中・高等学校4年生によるグローバル人材育成事業探究成果発表会に出席	渡邊一成	福山市立福山中・高等学校にてグローバル人材育成事業探究成果発表会が開催され、都市経営学部長の渡邊一成教授が講師として参加。
1月23日	暁の星女子中・高等学校で特別授業を実施	渡辺健次	渡辺健次副学長が暁の星女子中学・高等学校で、「みんなの「可愛い」を創り出せ～データサイエンスと生成系AIによるキャラクター創造～」と題した特別授業を実施。
2月5日	戸手高校「第28回生徒発表会」にて課題研究活動の講評を行う	辻紳一	広島県立戸手高等学校にて「第28回生徒発表会」が開催され、都市経営学部の辻紳一准教授が1年間の課題研究活動の講評を担当。
3月17日	戸手高校で特別講義を実施	辻紳一	広島県立戸手高等学校にて、都市経営学部の辻紳一准教授が「実社会における課題発見・解決の実践～探求の意義と大学での学びとの接続～」と題した特別講義を実施。

○包括連携協定

広い分野で継続的に協力していくための“枠組みづくり”の協定です。

連 携 先	締 結 年	目 的
福山シティフットボールクラブ	2021年	活力ある地域社会及び学生の未来創造に寄与すること
福山通運株式会社	2023年	産学の連携を通して、地域の文化・経済の進展に関する研究に取り組み、研究開発や人材育成など相互の協力に基づき、得られた研究成果を広く社会に還元・貢献すること
株式会社にしき堂	2024年	産学の連携を通して、教育や健康における研究開発・人材育成など相互の協力に基づき、得られた研究成果を広く社会に貢献すること
株式会社啓文社	2024年	産学の連携を通して、書籍・出版物を基盤とした教育研究や地域研究、人材育成など相互の協力を進め、得られた研究成果を活かして地域文化の発展に貢献すること
株式会社コパックス	2025年	産学の連携を通して、地域の文化・経済の進展に関する教育研究に取り組み、研究開発や人材育成など相互の協力に基づき、得られた研究成果を広く社会に還元・貢献すること
株式会社福山デニックス	2025年	産学の連携を通して、地域の文化・経済・健康・スポーツの進展に関する教育研究に取り組み、研究開発や人材育成など相互の協力に基づき、得られた研究成果を広く社会に還元・貢献すること

○事業連携協定

特定の事業・分野に絞って協力するための実務的な協定です。

連 携 先	締 結 年	目 的
ウツミフィッシャーメンズフェスト実行委員会	2023年	地域社会の発展と人材育成及びまちづくりの推進に寄与すること
福山電業株式会社エリアマネジメント事業室	2023年	地域社会の発展と人材育成及びまちづくりの推進に寄与すること
福山地区防火連絡協議会	2023年	地域社会の発展と人材育成及びまちづくりや火災予防啓発の推進に寄与すること
福山商工会議所青年部	2024年	地域社会の発展と人材育成及びまちづくりの推進に寄与すること
株式会社中国銀行	2024年	遺贈(遺言による寄附)による社会貢献を希望される方の篤志を広く受け入れること
日野町	2024年	相互連携・協力による地域活性化及び教育研究の発展を図ること
福山駅前等歩道空間活用社会実験実行委員会	2025年	地域社会の発展と人材育成及びまちづくりの推進に寄与すること

○教員による審議会等委員・講演会等講師の活動

種 類	件 数
審議会等委員	90件(うち福山市関係39件)
講演会等講師	117件(うち福山市関係46件)

○受託研究・共同研究事業

本学の知的・人的資源を活かしながら、行政や産業界と連携協力し、課題の解決に寄与する取組みを行っています。

連 携 先	研 究 期 間	研 究 題 目
東広島市	2024年 4月 8日～2025年 3月31日	崩壊・土石流跡地の植生回復に関する研究
福山市	2024年 6月13日～2025年 3月31日	災害に強い森林整備に関する調査研究
北海道大学	2023年 4月 1日～2026年 3月31日	湿地・湖沼群を含む陸域の多様性解明による自然資源の評価

※2024年10月1日～2026年3月31日までに取組みがあったもの

日 時	タイトル	教職員等	概 要
12月18日	「保育・教職実践演習(幼)」において受講生が福山市人権平和資料館を訪れ、平和と人権を学習	渡邊真帆 藤原里美 河本佳代	「保育・教職実践演習(幼)」(担当:渡邊真帆講師・藤原里美特任教員・河本佳代特任教員)において、学生が福山市人権平和資料館を訪れ、講義を受けたり展示物に触れたりして平和と人権を学んだ。
12月19日	(一社)広島県測量設計業協会の皆さまが専門教育科目「都市基盤施設論」の講義を担当	渡邊一成	学部の専門教育科目/基幹科目「都市基盤施設論」(担当:渡邊一成教授)に(一社)広島県測量設計業協会の皆さまをお招きし、防災まちづくりの取り組みをご紹介いただいた。
12月20日	保育の仕事の魅力を体験してもらうイベントに協力	渡邊真帆	福山市保育施設課が主催する保育の仕事の魅力を体験してもらうイベント(高校生らが対象)が小松安弘記念館で開催され、教育学部の渡邊真帆講師(幼児教育学)がセミナーを担当。
12月22日	学生サークルが中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」地方奨励賞を受賞	学生	学生サークル「GooHats」が、中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」地方奨励賞を受賞し、中国四国農政局の皆さまから賞状の授与式が行われた。
1月14日	「就活応援ラジオ」のキックオフミーティングに学生が参加	学生	エフエムふくやま「就活応援ラジオ『輝く地元企業で働こう!』」のキックオフミーティングが開催され、両学部より学生6名が収録に参加。
1月20日	瀧本哲弘講師が地元バスケットボールチームの選手にトレーニングセッションを実施	瀧本哲弘	教育学部の瀧本哲弘講師が、地元福山の新設バスケットボールチーム・びんご福山デニックス様の全体チーム練習にて、コンタクトプレーと体の使い方のセッションを実施。
1月20日	西日本旅客鉄道(株)、ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)の皆さまが専門教育科目「都市基盤施設論」の講義を担当	渡邊一成	学部の専門教育科目/基幹科目「都市基盤施設論」(担当:渡邊一成教授)に西日本旅客鉄道(株)、ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)の皆さまをお招きし、駅からはじまるまちづくりの取り組みをご紹介いただいた。
1月20日	渡辺健次副学長が竹原市人権啓発講座で講演	渡辺健次	渡辺健次副学長が竹原市の人権啓発講座で、「デジタルシチズンシップ～デジタル時代の行動規範～」と題して講演し、約60名が参加した。
1月23日	暁の星女子中・高等学校で特別授業を実施	渡辺健次	渡辺健次副学長が、暁の星女子中・高等学校で「みんなの「可愛い」を創り出せ～データサイエンスと生成系AIによるキャラクター創造～」と題した特別授業を実施。
1月28日	教育学部生と地元バスケットボールチームとのコラボ企画がスタート	瀧本哲弘	びんご福山デニックス様との包括的連携協定に基づき、学生がSNS編集やイベントブースのお手伝いなどのチーム広報活動に協力するコラボ企画を開始。
1月31日	福まきとふくやま城下冬まつりにて、教育学部生とびんご福山デニックス様がコラボ企画を実施	瀧本哲弘	学生とびんご福山デニックス様が、福山城の豆まきイベント「福まき」とふくやま城下冬まつりにて、SNS編集やイベントブースのお手伝いなどでコラボ活動を実施。
1月31日	きょうと多文化支援ネットワーク「第8回グローバルセッション」を開催	牧田幸文	都市経営学部の牧田幸文教授が、きょうと多文化支援ネットワーク・京都市国際交流協会と共に「外国で暮らすヒントとストレス・マネージメント」セッションを主催し、京都の外国人住民について講師を務める。
2月2日～27日	「就活応援ラジオ」放送開始	学生	福山市立大学、福山大学、福山平成大学の学生が出演する「就活応援ラジオ『輝く!!地元企業で働こう!!』」がエフエムふくやまで放送。
2月7日	「IMAEP対話型音楽鑑賞経験プログラム」を開催	古山典子	教育学部の古山典子教授がFCU EDU+の一環で、中学生・高校生・大学生対象の「IMAEP対話型音楽鑑賞経験プログラム with オーケストラ福山定期」を開催。
2月9日～10日	本屋での宿泊イベントで「防災啓発イベントの避難想定環境における睡眠の変化」を研究	平野晋吾	教育学部の平野晋吾准教授が事務局と連携し、「地元企業のシュラフで体験する「フェーズフリーな眠りの備え」」にて睡眠環境実験を実施。
2月9日～10日	「地元企業のシュラフで体験する「フェーズフリーな眠りの備え」」を開催	事務局	イシケン株式会社様、株式会社啓文社様、教育学部・平野晋吾准教授、大学事務局が連携し、地元企業のシュラフを使って本屋に宿泊するイベントを開催。学生11名が参加。
2月17日	「どうする?サイバーセキュリティ?」公開講演会を開催	渡辺健次	渡辺健次副学長が福山商工会議所にて、「どうする?サイバーセキュリティ講演会」公開講演会を開催。
2月18日	瀧本哲弘講師とびんご福山デニックス様が、英語と体育を融合した学習方法の共同研究を実施	瀧本哲弘	教育学部の瀧本哲弘講師とびんご福山デニックス様が福山市内にて、福山の教育研究及びスポーツの振興を目的に、英語と体育を融合した学習方法、CLIL(クリル)に関する共同研究を実施。
2月24日	学生サークルが尾道市議会議員の皆さまと農業について座談会	学生	尾道市議会第1次産業活性化推進議員連盟の皆さまが学生サークル「GooHats」の視察に来学され、サークルメンバーと農業の魅力についてディスカッションを行う。
2月28日	「音でわくわくワークショップ」を開催	古山典子	教育学部の古山典子教授がFCU EDU+の一環で、3～5歳対象の「音でわくわくワークショップ」を開催。
3月10日	瀧本哲弘講師がFMふくやま様の「こんばんは☆堀病院です!」に出演	瀧本哲弘	教育学部の瀧本哲弘講師がFMふくやまのラジオ番組「こんばんは☆堀病院です!」にゲスト出演し、英語教育やアメリカンフットボールのトークを展開。
3月22日	学生サークルが「オーケストラ福山定期Vol.12」に関連して座談会を開催	学生	ふくやま芸術文化ホールで開催の「オーケストラ福山定期Vol.12」に関連し、芸術文化振興サークル「sonorite」が「オーケストラ福山定期vol.12 スペシャル座談会 with リーデンローズ 作田館長」を開催。

福山市立大学 地域連携センター

Regional Collaboration Center

〒721-0964 広島県福山市港町二丁目 19 番 1 号

☎084-999-1112 ☒renkei@fcu.ac.jp